

# チェンライ City Center 近郊

2月4日



ハイ・チェンライホテル 4★で快適



移動の為の車をチャーター、値段交渉も一苦労



ブラックテンブル  
ミュージアム  
←



狭い車内もまた楽し



市内中心部の  
シンボル時計台  
ロータリーに有り、  
色が変わる  
ライトアップ →



真っ白で眩いワット・ロンケン／ホワイトテンブル



昼間っからアルコールは販売しない  
酒飲みにはつらい!



ワット・ロンスアテン／ブルーテンブル

# チェンライ ナイトバザール

2月4日

チェンライ City 最後の夜



一日の観光が終わって後は、バザール



金勘定に急がしい会計田中さん



バザールのお店、約60店舗



チェンライ ナイトバザールで豪華ディナー



乾杯！ 乾杯！



タイのシンハビールは格別！



何か、苦い！



食後は、お土産の  
値引き交渉



メイン通りは、  
ランタン祭りの  
飾りが綺麗 ↓

チェンライ CITY から

# WAT JAPANへ移動

Meakautomtashut 村

2月5日



ハイ・チェンライホテルでの朝食、

チェンライ CITY CENTERから国道1号線で約30Km北上  
WAT JAPANの有る田舎町へ大移動!



乗車した乗り合いバス



乗り合いバスなのに要望場所で下車

ホテルから徒歩7-8分のバスターミナから国境の町  
メーサイ行きの乗り合いバスで移動



国道1号線  
中央分離帯  
ブーゲンビリアが  
満開



バス下車から約300mやっと着いたぞ



蓮根食堂の住所表記



バスは我々を下ろして、更に北上／名残惜しそう



松下和尚、和尚のお弟子さん、近隣の方々

# WAT JAPAN

ウエルカム・パーティ

2月5日



右の平屋が蓮名食堂 正面の2階が女性宿泊 WAT JAPAN



広い庭には、鶏や犬が放し飼い



在チェンライ日本人の一番弟子、岡田さん



乾杯 !!



峯尾リーダー  
の挨拶と  
蓮名食堂の  
おかみ



大野副団長 あっち!



手鏡をもらって  
にっこり



暖簾を蓮名食堂に寄贈



蓮根食堂のバイト娘



田中会計担当、お金?

# くびなが族と一番弟子の家訪問

2月5日



旅行の無事を祈って…  
南無妙法連華経



トラックの荷台に  
乗るのは始めて!

きもちいいよ！



店頭で竹細工をするアカ族



念願の首長族にあえてピース！



アカ族の看板娘



首長族の民家↑と集会場↓



山岳民族の銀座通りを散策



長い登り坂道を歩いて  
風光明媚な湖に出た。  
良かった！



お母さん、あえて  
嬉しいよ！



松下和尚のタイ人の信者第一号  
自宅玄関の間で30畳ぐらい有る



松下和尚のタイ人の信者第一号  
自宅、立派な門の前で

# ミャンマー・タチレク観光

2月6日、7日



THE NORTHERN MOST OF THAILAND  
タイの最北端、オブジェ



サーイ川の左側がミャンマー  
右側がタイ



サーイ川に面したホテル



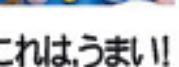
タチレクでのイブニングパーティ  
舞台では熱演が続く



シュエダゴンパマ広場  
黄金のバゴダ／皆裸足



朝食はホテル前の食堂でそば類を食べる



これは、うまい！



宿泊したリバーサイドホテル



街中の風景

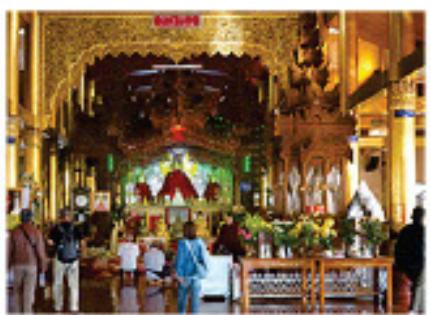
←



↑  
←  
タチレクの  
マーケット



←マハニヤートム寺院の丘から見える  
タチレク市街



マハニヤートム寺院 市街の中心部



# チェンライ郊外北部、タムルアル洞窟

2月7日



長い階段は、これ登るの?



長い階段の上にあった  
仏塔



サソリ寺の  
オブジェ



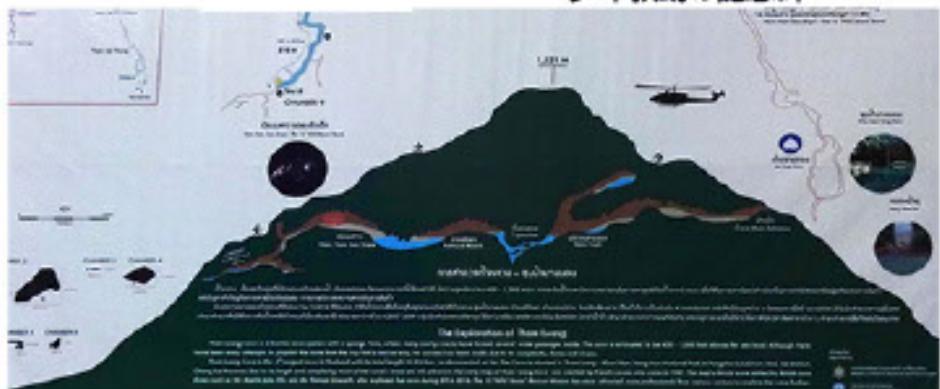
少年救助の記念碑



階段の両脇は龍(ナーガ)が  
うねっている。



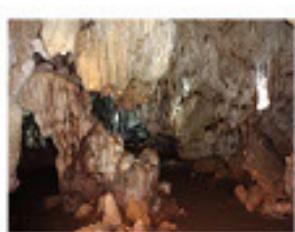
仏陀の洞窟



タムルアン洞窟／2018年サッカーチームに所属する  
12人が増水で出られなくなったが、無事救助された。。



仏陀の洞窟



アムルアン洞窟入り口



右は、ミャンマーのガイド  
Aung Winさん立っているのが、  
日本人会顧問の井上さん、その  
左が娘さんと、奥さん、



ミャンマーへの一泊旅行が  
終わって。WAT JAPAN近くの  
中国人が経営する中華料理屋で  
ディナー、やっぱり中華は  
おいしい。

# 瞑想寺院 ワット・アナカリック

2月8日  
松下和尚が修行した寺



きょうも、元気な若者は車の荷台で大はしゃぎ



寺のなかの仏像など



ブッタンサラナンカッチャーミ……  
佛法僧の三宝に帰依する事を誓う



この薄暗い洞窟で修行



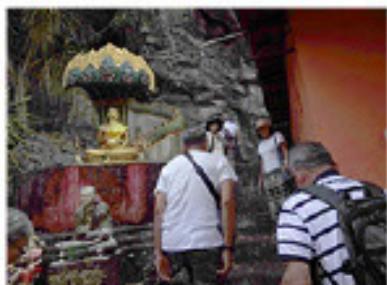
寺の中の風景



卵、1人何個まで吃れる?



ワニの卵、ほんまかいな?



これなんだろうね?



# 近隣の小中学校と、市場

Meakautomtashut 村



タースット小学校、中学校



朝、校庭の片隅で雑談する生徒



市場に行くには、国道1号線を横断する。(片側3車線)車も多いし、高速で来るので命がけで横断する。



唐辛子ではないかな?



豚の顔がおいてあるのには  
ビックリ!



オレンジ系だね



内部の様子 ↑ ↓



Tシャツも売られている@370円



魚も売ってるよ



マンゴーが安い!



調味料も売ってます。



ナマズの類でしょうか?



チェンライ最後の夜

# 盛大な感謝とお別れ懇親会

2月8日



峯尾リーダーから  
ミャンマーのガイド  
Ung Winさんに  
文房具を寄贈。  
後日、孤児院に  
寄贈したとお礼が  
来た



大野サブリーダー  
から、日本人会  
顧問の井上さんに、  
お礼の品を渡した



風船の飾り付けをして、チェンライでの皆さんに感謝、乾杯！



松下和尚



井上日本人会顧問



皆さんにお礼の挨拶をする  
峯尾リーダー



名前は不明、マイクロバス運転手



井上さん家族と蓮根食堂女将

ミャンマーのAung Winさんに  
大野さんは個人的に寄付



WAT JAPAN



寝泊まりした部屋で  
出発の準備

# さよなら チェンライ

2月9日



出発前・チェンライ最後の朝食



チェンライ空港から  
バンコクに飛ぶ



チェンライ→バンコック

# いよいよ”バンコク”

～2月13,14日



アユタヤ遺跡で

ワット マハータト跡  
後ろの木は、仏像の  
頭が、根に取り込まれて  
いる。14世紀にビルマ  
軍に攻められた結果。  
とにかく、  
お祈りしましょう。



クルーズ船から見た  
バンコクのリバーサイド高層ビル



バンコクで一番高い314mのビル、  
日本で言えば、大阪の「あべのハルカス」か?  
ガラス張りの床での3人組、足がすべむよ



ニューハーフショウが終わって、  
アジアンテーク・ザ・リバーフロントテラスにて

# チェンライ・バンコク参加メンバーとコメント 11名のアクティブシニア達 !!



団長 峰尾健一

理事長の知人で タイチェンライでお寺を持ち現地で活動している和尚さんがいらっしゃる。民泊が可能では?タイなら格安航空会社LCCで安価に行ける。チェンライ、バンコクのショートステイの旅企画がスタート。

お世話になるお寺の住職しようこう様と参加者全員で何回も集まり、宿泊は宿坊、民宿、移動にはタクシーは極力使わず公共交通機関を利用のオリジナル旅行を企画しバック旅行では経験できないリーズナブルで楽しいショートステイを楽しみました。

小生は海外での民泊は初体験でした。虫の侵入(爬虫類が苦手)、やぶ蚊(刺されやすい)等の問題で熟睡できないんではないかと、またミャンマーの国境の町タチレクではバックパッカー向けの安宿の宿泊でしたが虫刺されもなく快適に過ごせ感謝いたします。

しようこう様が修行をなされたお寺での瞑想体験等大変貴重な経験ができました。

チェンライ6泊後 3名帰国 1名チェンライ延泊 6名バンコク観光に分かれ計画通り事故もなく有意義な楽しいショートステイができ無事帰国出来ましたことはひとえに参加者、しようこう様のご支援御協力のたまものと感謝御礼申し上げます。



副団長 大野康昭

チェンライとバンコク12日間の旅でした。

一言でいえば楽しかったです。ツアー旅行では味わえない興奮がありました。

チェンライ:タイ国北部の自然、山村の風景に魅了されました。国境の二つの町メーサイとタチレクには商機を求めて賑わう人達の活気がありました。そのほか思い出に残っているのは、タイ国道1号線を車で北上したこと、瞑想寺と松下和尚が修業した洞窟、バンズー温泉での憩い、ワットジャパンと蓮名さん、井上さんたちの親切等。

バンコク:クルージングでの観光が便利で楽しかったです。大都会バンコクでのエンターテイメント堪能できました。チャイナタウンでは奇跡もありました!

振り返って:幹事や色々お手伝いいただいた皆さん、松下和尚へのお礼と共に今回の旅行に参加された女性会員に感謝です。彼女達がいなければこんなに楽しくはならなかつたでしょう。



会計担当 幹事  
田中靖人

ツアー旅行が多い私にとって、今回のような手作りの長期の海外旅行は初めての経験であり、大変興味深く楽しいものでした。幹事の峰尾さん、宮下さんありがとうございました。

松下和尚との打ち合わせ等事前準備、航空券、ホテル等の手配、旅行中のスケジュール等への配慮等々大変だったと思います。感謝の一言につきます。

思い出としては和尚の寺での雑魚寝、食堂での食事、飲み会、そしてお寺めぐり、瞑想道場での瞑想等々が記憶に残ります。

またバンコクでは電車、バス、船等を乗り継いで王宮等市内観光、夜の街またアユタヤ遺跡も素晴らしかったです。また地元在住者との交流等貴重な体験も出来て良かったです。



バンコク担当幹事  
宮下 弘

今回、LSCタイステイは、日程の関係から、バンコックから参加しました。

バンコクに残られたメンバー5人と、8年振りのバンコックを堪能しました。

高校時代の同級生(独身)が、2年前バンコックの1Kのマンションを購入しロングステイを始めたので会っていました。年金生活で、十分お釣りがくる生活費で、バンコックは日本にいるより、はるかに、余生を楽しんでる様子がうかがえました。

日本には、2~3ヶ月滞在、後はバンコックで生活。ロングステイ先としては、日本人が、満足できる生活で、一番コスパに優れた、都市だと実感致しました。



【掲載順番は「あいうえお」順です】



安藤芽久美

初めて皆さんと旅行し、昼間からお酒も飲めてとてもリフレッシュしました。役員の方々のご尽力でタイの普段の生活を垣間見ることも出来ました。家の中も広く外観も立派、物価や賃金が日本に追いつきちゃうと思ったのは私だけ!



大野礼子

楽しすぎました旅!!

貴重な生の学び、新鮮な体験、感動の連続。一期一会の優しさ、たくさんの人達との出会いのありがたさなど、旅の幸せ時間を満喫させていただきました。これらは、すべてご一緒させていただいた、LSCの皆さんと松下和尚さまのご苦労と優しさのおかげと心から感謝です。本当にありがとうございました。コロナで自粛が言われている今、LINE.LSCchiangRai(II)を開いてタイ旅時間にタメ込みアップして、現実逃避しています。また、この情報からたくさんヒントもいただきました。ありがとうございます!



奥村明美

タイにいる間 毎日 楽しくて 楽しくてありがとうございました



竹井 彰

今回の タイ、ミャンマー旅行は行き先、日程、チケット、宿泊先、移動手段など 仲間たちによる 完全手作り旅行でした。勘違い、思い違いもあり 全て順調とは言えませんが、終わってみれば それも良い想い出。幹事の皆さんに感謝、感謝です。



中村一彦

バンコクは何回も行きましたが、チェンライは初めてで、楽しみにしておりました。また、現地の方々との交流の機会もあることから期待していましたが、通訳を通してでも生活や文化の違い、考え方の違いなどについて、意見交換する機会があったらよかったです。それにしてもII人もの宿泊場所の準備や、移動の手配も含めた観光案内など経験の無い松下和尚には想像以上のご苦労があったものと推察し、心より感謝いたします。宿泊は、ホテルと異なり、当然ながらそれなりの不便さや不快感さもありましたが、良い体験でした。皆さんがバンコクに行かれた後も私はチェンライに一人残りモーターバイクでツーリングしてチェンライを楽しみました。豪華なお寺もたくさんありましたが、滝など、自然も素晴らしいかったです



真溪佐智子

チェンライだけ参加して6日間で帰りました。

アジアなので大方予想はしていましたが、文明社会に慣れすぎた私たちには、やはりきつい面もありました。

まず民宿のトイレにペーパーがなく、あちら社会ではホースで洗うので最初は抵抗があり、ホテルからもらってきたトイレットペーパーを使用しましたが途中から思い切ってホースを使用しました。しかしその後ペーパーがやはり必要ですのでアジア圏ではマイタオルを常に持参しているらしいですが、我々は矢張りペーパーが要りました。

またお風呂は泊まったまったく民宿ではなく、近くの温泉に毎日日かに行きました。

女性群は喜んで体や髪を洗いましたが不思議なことに排水がついていらず、あつという間に通路まで水があふれ、我々は大困り。まあ慣れない土地の失敗はあとからはよい思い出です。

私は首長族が見たくて行きたかったようなものでしたが、今はすでに観光化していて入場料を払ってお土産を買う始末。しかし女性二人でとても楽しく、首長族のかわいい娘さんたちと写真を撮ったりお土産を買いました。これで満足できました。

【次ページに続きます】

後は言われるままに連れて行ってもらい、個人ではいけない、ちょっと怖そうな所やら変わったズボンを買ったり、屋台で皆で大はしゃぎしたり、あっという間の5日間でした。泊まったお店の料理も珍しく結構おいしかったし、私はイナゴのような昆虫の佃煮も挑戦しました。ただ宿が人を泊めるめる様にはできていないので布団が少なく、4人の女性は寒さにコートを着たまま寝たりで、タイは暑いと言う思い込みでしたので風邪を引きそうになりました。やわな我々と違って男性陣はアジア慣れしているのか一向に寒そうでなく、現地人と間違えられるくらいたくましい方が多く、ヨーロッパ派の女性にはきつい面もありましたが、もうあのような体験はできないと思いますのでよかったです。



宮田敬生

行ってみたいと思っていたタイ奥地。ゴールデントライアングルや、サッカー少年が半月以上閉じ込められた洞窟などにも行く、とのことで、即参加申し込みをしました。色々あったが、幹事さんのご配慮と調整力のお陰で楽しい旅ができました。現地の人との交流など、得がたい体験です。コロナ禍が本格蔓延する直前に全員無事帰国でき、ほっとしています。

(以上 参加者11名のコメントでした)

## チェンライ／バンコクでお世話になった皆さん！

ຂອບគຸນ ພວບທະ ຄັ້ນຄລັກ ຄັ້ນກາ



蓮名さん(テムイさん)

松下しょうこう和尚

井上和夫さん

アウン ウインさん



▶ 大岡和二さん

宮下さんの大学時代からの親友  
3年前にバンコクに移住された。  
非常に詳しい。バンコク近辺を  
丁寧に案内して頂いた。

▶ 松下和尚 宿泊準備から、各種手配、観光案内、  
関係者の紹介など、全ての面においてお世話になった。

▶ 井上和夫さん チェンライ日本人会の顧問、松下和尚と懇意で、  
我々の行動に全面的に協力してくれた。

▶ 蓮名さん  
(テムイさん) WAT JAPANに隣接する蓮名食堂の経営者で女将、  
何時もおいしい料理を提供してくれた。女性の宿泊場所は  
レンナさんの二階部屋を使用させていただいた。

▶ アウン ウインさん ミャンマー人で日本語通訳やガイドをしている  
ミャンマー観光は、彼がないければ出来なかつた。

# 今回の1人当たりの費用

費用を抑えて楽しいSTAY!



## 航空運賃

成田ーバンコクー チェンライ 往復 (LCC手配) 荷物、バス代込み 55,000~60,000 円

## 宿泊代

(チェンライホテル、ミャンマーホテル、WAT JAPAN) 合計 6泊 9,000 円

食事代、交通費、お布施、その他雑費 18,000 円

合計 82,000~87,000 円

## バンコク参加者追加費用

宿泊費 5泊 17,000~23,000 円

オプショナルツアー 8,000 円

食事代、観光、交通費、その他(個人支払いにつき概算) 30,000 円

合計 55,000~60,000 円

## LSCタイSTAYの後のプライベート観光

LSCのタイ参加メンバー一行を見送った後、バンコクに残留して探訪した、宮下さん、大野礼子さん。その一部を紹介!

バンコクから160Km南のタンチャナブリ霊山と、大野さんは更に1人でバンコクから600Kmのブーケットに1人旅。



タンチャナブリの中国式寺



タンチャナブリの中国式寺



タンチャナブリ霊山の登山



タンチャナブリ霊山山頂に参拝



ブーケット夕暮れのビーチ



タンチャナブリ海岸の海鮮料理で昼食



ブーケットの綺麗なビーチ



カロンビーチ/バラセーリング